

Ⅲ 令和 1 - 2 (2019-2020)年度の研究所活動記録

「熊本市都市史図解—都市形成と都市計画—」完結



熊本市都市政策研究所では、平成24年10月の開設以来、地域の特性や特色をよく知り都市政策の歴史を十分に認識しておくことが、これからの調査・政策研究においても、まちづくりを考えるうえでも重要であることから、「熊本市の地域認識と歴史認識の共有化に資する研究」として、地図や計画図等を掘り起こし、その時代背景や計画等の調査、整理に取り組んできました。

その研究成果として、これまで平成26年度と平成28年度に「都市形成史図集」の戦前編と戦後編を刊行しました。そして今回、旧都市計画法制定

100年という節目を迎えたことも踏まえ「都市計画史図集」を作成し、これらの3部作をまとめて「熊本市都市史図解—都市形成と都市計画—」として公表するに至りました。

「都市計画史図集」は、寛永6年(1629年)頃の「熊本屋敷割下絵図」から平成26年(2014年)の「桜町・花畑周辺地区まちづくりマネジメント基本計画所収図」までの43枚の主図とその解説で構成されています。また解説を補完するために補図39枚を使用しています。これらの計画図は、調査を進める中で新たな事実や計画図等が発見されることがあり、その都度、どれを使用するか、どのような構成にするかなど、検討を重ね最終的に決定したもので、関係機関の協力をいただきながら掘り起こした、いずれも当時の都市計画を窺い知るうえで貴重な資料です。

冒頭の総説では、熊本市における都市計画に関する出来事について、新・旧都市計画法の施行、戦争や災害など、時代の大きな節目に沿って解説しています。今日の都市の形に至る社会的な背景や経緯をはじめ、熊本市における都市計画の流れを俯瞰して見ることができます。

既刊の「都市形成史図集(戦前編・戦後編)」は、地図が作成された当時の都市の状況と、それがどのような背景や過程を経て形成されたかを対象としているのに対し、「都市計画史図集」は、計画図が作成された当時、どのような背景のもと、どのような方針や方向性をもって都市の整備や開発、保全状況などが図られようとしていたかを対象にしています。巻末の「参考文献一覧」にあるように、多くの文献を参考にあたりながら、また副図も用いながら、凡例の解説を中心に限られた紙面の中で最大限、当時の状況が鮮明になるよう解説しています。

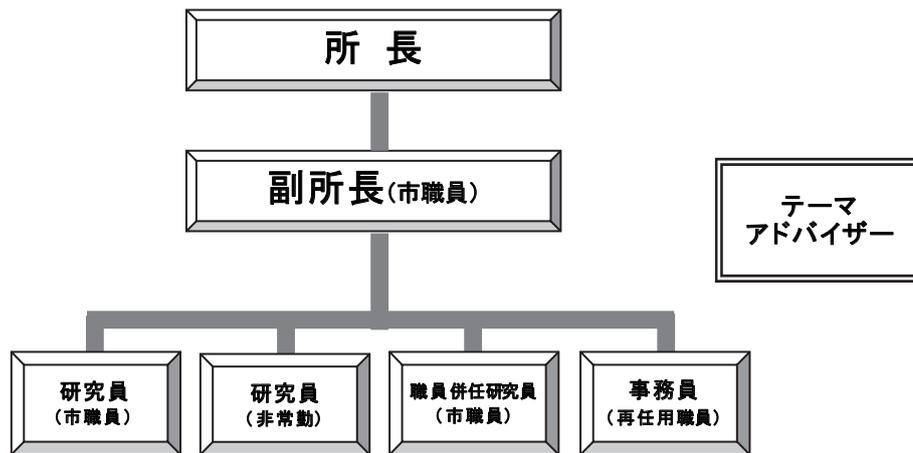
また、計画がなされたものの、その後の時代の変化とともに必要性が薄れたり、予算の確保が困難になったりして、計画の見直しや事業未着手のまま実現しなかったものもあります。計画が策定された当時、どのような社会的な背景や要請により、どのような都市づくりを進めようとしていたかが理解できるため、『実現しなかった都市計画』にも着目しています。改めて当時を振り返ることで、これからのまちづくりを考えるうえでの大きなヒントが隠されているのではないのでしょうか。

Ⅲ 令和 1-2 (2019-2020) 年度の研究所活動記録

1 組織

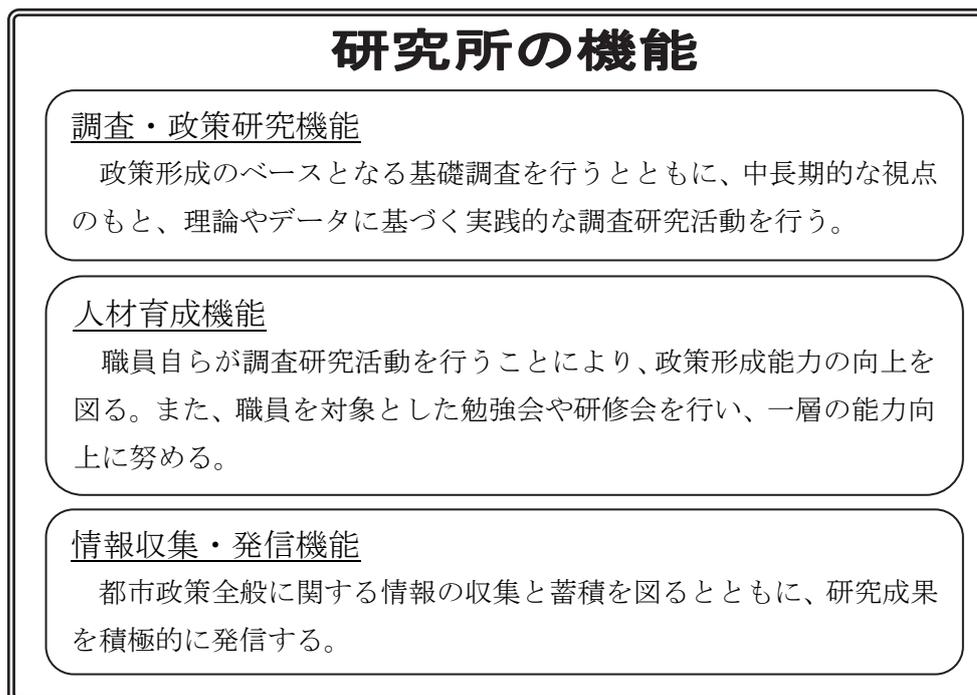
(1) 組織

令和 1-2 (2019-2020) 年度は、副所長（市職員）1 名、研究員（市職員）3 名、研究員（非常勤）3 名及び事務員（再任用職員）を配置し、所長以下総勢 9 名の組織としている。また、平成 26 年度より各局・区等における行政課題の研究を通して政策形成能力の向上を図ることを目的とする職員併任研究員を配置している。



(2) 研究所の機能

当研究所では、本市の中長期的なまちづくり構想に資する調査研究活動を行うとともに、職員の政策形成能力の向上を図るため、①調査・政策研究機能、②人材育成機能、③情報収集・発信機能の 3 つの機能に基づく活動を行っている。

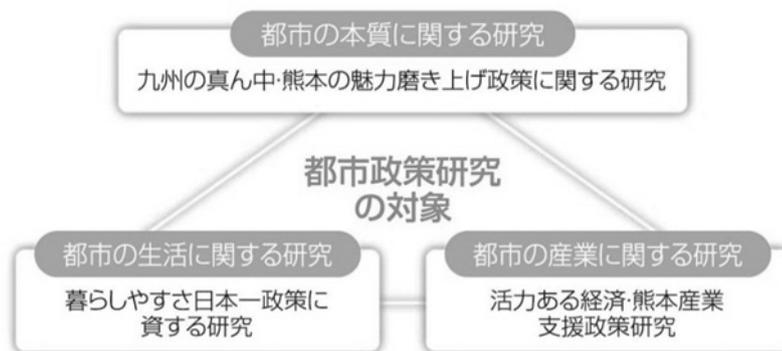


2 調査・政策研究に関する活動

(1) 研究フレーム

熊本市域の地域認識、歴史認識の共有化に資する研究を進めるとともに、熊本都市圏のさまざまな都市問題やまちづくりに貢献することを念頭に、政令指定都市・熊本の中長期的なまちづくりに資する調査研究活動を行った。併せて、コロナ禍に係る調査研究に取り組む特別研究チームを結成し、「市民の声分析」を行うなど、時世に合わせた調査も実施した。

加えて、各局・区等における行政課題等の解決に向け、その局・区等に所属している職員が一定期間政策研究に取り組む「職員併任研究員制度」により、庁内から公募選考された職員併任研究員も調査研究活動を行った。



① 熊本市域の地域認識、歴史認識の共有化に資する研究

今後の様々な研究の基礎となる地域認識・歴史認識の共有化に資する研究に引き続き取り組み、令和1-2(2019-2020)年度は熊本市の都市計画に関する調査研究を実施した。加藤清正の都市づくりに始まり、熊本市が大正12年に適用を受けた旧都市計画法から現代に至るまでの都市計画・都市政策等に関する計画図の存在を明らかにし、「熊本都市計画史図集」としてまとめ刊行した。

② 研究員研究

上記①の研究とともに、各研究員が個人研究を行なった。

■都市の本質に関する研究

- ・西南戦争後の復興街路計画にみる熊本城下の近代都市づくりの第一歩

■都市の生活に関する研究

- ・客引き行為対策の効果的な実施についての考察
- ・「市長への手紙」と「私の提言」から見るコロナ禍に対する緊急事態宣言前後の熊本市民の声
- ・自転車利用に影響する健康及び環境保全意識の関連分析
- ・COVID-19 禍のバス利用の時空間変動に関する研究 - 熊本の IC カードデータの分析から -
- ・熊本市域における「どんどや」の現状と今日的意義
- ・熊本敷の校区における「どんどや」の開催と櫓づくりの実態

■都市の産業に関する研究

- ・熊本市中心市街地活性化政策の効果推計 - 平成19年度熊本市中心市街地活性化基本計画作成からサクラマチクマモト開業まで -

③ 職員併任研究員研究

- ・行政手続きオンライン化への課題と展望に関する研究

④ 外部研究機関との共同研究

- ・震災時における避難生活の場としての都市公園運営モデルに関する調査
- ・ブロックチェーン技術活用研究

(2) 庁内各組織の政策立案等調査支援

研究所が行う調査・政策研究の成果、蓄積した情報、人材ネットワーク等を活用し、庁内各組織の課題や問題解決の支援のため、先行論文の調査や資料の提供、各プロジェクトチームへの参加等を行った。

<支援の内容>

- ・コロナ禍に対する市民の声分析
- ・産業連関分析

3 情報収集・発信に関する活動

(1) 年報の刊行

当研究所の調査研究論文をはじめ、情報収集・発信、人材育成に関する年間の活動等について整理した年報を作成している。令和元(2019)年度においては平成 30 年度の活動報告等をまとめた年報(熊本都市政策 Institute of Policy Research, Kumamoto City Annual Report 2018 熊本都市政策研究所 年報 vol.6)を作成した。

(2) 研究所ホームページの充実

研究所では、熊本市ホームページ内に研究所ホームページを開設しており、研究所の目的、機能、組織、活動内容等について広く情報発信した。

このホームページには、以下の内容を掲載している。(令和 2(2020)年 3 月現在)

- 研究所からの挨拶：所長挨拶
- 熊本市都市政策研究所について：設置の背景、研究所の機能、組織体制
- スタッフ・研究テーマの紹介：スタッフおよび実施中の研究の紹介
- 熊本都市政策(年報)・出版物・ニューズレター：出版物等の紹介
- 講演会・研修会：講演会の案内、報告
- 所長の発言等：学会誌や各種雑誌などにおける所長の発言
- 活動報告：研究所の各種活動の報告
- お問い合わせ・交通アクセス：問い合わせ先および研究所へのアクセス
- リンク集：関係機関のホームページリンク

【参考】ホームページの充実を図るため、随時更新を行った。令和 2 年度の主な追加更新は、次のとおりである。

(更新期日)	(追加更新内容)
令和2年 4月19日	スタッフ・研究テーマの紹介掲載内容の更新 ニューズレター第18号を追加 第30回講演会の開催延期を追加
5月19日	活動報告の記事追加 (新型コロナウイルス感染症に対する市民声分析)
9月10日	スタッフ・研究テーマの紹介掲載内容の更新 第29回講演会講演録を追加
令和3年 2月19日	ニューズレター第19号を追加 第30回講演会講演録を追加

(3) ニューズレターの発行

令和1-2(2019-2020)年度を通して3回、『IPRK 熊本市都市政策研究所ニューズレター』を発行した。研究所の活動状況と伝える情報誌として、講演会概要、研究所活動報告、研究員だより、研究コラム、表紙には都市形成の変遷をたどる本市の地図を掲載し解説も加えている。

発行月	主な内容
第17号 令和元年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第26回、第27回講演会報告(要旨) ・研究所活動報告 ・研究員だより『熊本博物館・特別展「追憶の熊本」によせて』 ・研究コラム『自然の価値とは?熊本の森林で考える自然の「関係価値」』 ・表紙地図紹介『熊本都市計画図 幅員別道路図』 昭和2年
第18号 令和2年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・第28回、第29回講演会報告(要旨) ・研究所活動報告 ・研究員だより『災害時の市役所内産業保健活動マニュアルの作成に向けて』 ・研究員だより『ブロックチェーン技術の活用可能性』 ・研究コラム『川尻線平行のバス路線図に見る熊本市の都市交通の変遷』 ・表紙地図紹介『熊本都市計画 工場分布図』 昭和3年
第19号 令和2年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第30回講演会報告(要旨) ・コロナ禍に対する市民の声分析 ・研究所活動報告 ・研究コラム『桜町再開発が地価に与える影響』 ・新任研究員紹介 『日本の現状に対応した自転車の走行環境改善に向けた評価方法モデル』 ・表紙地図紹介『熊本都市計画 熊本市水質調査図』 昭和3年

(4) ニュースメールの配信

講演会や研修会の参加者などのうち希望された方に対して、「IPRKニュースメール」を随時配信した。

◆ニューズメール概要

配信日	主な内容
No. 26 令和元年 5 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 26 回講演会のご案内 ・ ニューズレター第 16 号を発行
No. 27 令和元年 7 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 27 回講演会開催の案内
No. 28 令和元年 11 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 28 回講演会開催の案内
No. 29 令和 2 年 1 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 29 回講演会のご案内 ・ ニューズレター第 17 号を発行
No. 30 令和 2 年 4 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年報熊本都市政策 vol. 6 を刊行 ・ ニューズレター第 18 号を発行 ・ 第 30 回講演会開催延期の案内
No. 31 令和 2 年 11 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 31 回講演会開催の案内

(5) 学会等への参加

研究活動のため、各種学会等に所属するとともに研究発表会等に参加するなど最新の情報を収集するとともに、市役所内への情報提供を行う。また、研究に関連するその他の学会やシンポジウム等にも参加している。

【所属学会等】

日本公共政策学会、日本都市計画学会、日本造園学会、農村計画学会、日本建築学会、自治体学会、指定都市まちづくりシンクタンク連絡協議会

【参加・出席・聴講した研究発表会等】

参加・出席・聴講した研究発表会等	期 日
第 35 回全国自治体政策研究交流会議・第 33 回自治体学会参加	R1 年 8 月 23 日～8 月 24 日
SATOYAMA イニシアティブ公開フォーラム参加	R1 年 9 月 4 日
2019 年度日本建築学会大会（北陸）参加	R1 年 9 月 4 日～9 月 6 日
第 55 回経済社会学会全国大会共通論題「絆の社会経済学」発表	R1 年 9 月 7 日
環太平洋産業連関分析学会第 30 回全国大会参加	R1 年 11 月 2 日～11 月 3 日
「公園文化の集い in 吉野ヶ里歴史公園」参加	R1 年 11 月 29 日
2020 年度日本造園学会全国大会ポスターセッションオンライン発表	R2 年 5 月 23 日～31 日

4 人材育成に関する活動

(1) 講演会、研修会の開催

研究所では、職員の政策立案能力の向上を図るため、本市職員を対象とした講演会を実施している。この講演会は、本市職員のみならず熊本市圏をはじめ県内の基礎自治体職員を対象とし、その政策立案能力の向上に資することも目指している。そのほか国、県の機関、各種団体の職員及び市民に対しても広く実施の周知を行っている。

令和1-2(2019-2020)年度を通して、6回の講演会(第26回～第31回)を実施し(85ページ～Ⅱ講演記録参照)、講演会の後には講演会の講師を交えて意見交換会を行った。

また、講演会の内容に応じて、講演会の前後に研修会を実施した。

◆ 熊本市都市政策研究所 講演会 概要

	日時・会場	講演者・テーマ	参加者数
第26回	令和元年5月24日(金) 熊本市国際交流会館 6・7階ホール	田中 智之 氏(熊本大学大学院先端科学研究部 教授) 「本当にまちとつながる公共建築とは」	159名
第27回	令和元年8月16日(金) 熊本市国際交流会館 6・7階ホール	坂井 文 氏(東京都市大学都市生活学部 教授) 「公共空間の利活用とエリアマネジメント」	95名
第28回	令和元年11月14日(木) 熊本城ホール3階中会議室 B1. B2. B3	武内 和彦 氏(公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長) 「SDGsを地域政策に活かす」	143名
第29回	令和2年2月11日(火) 熊本市役所14階大ホール	斉田 季実治 氏(気象予報士) 「いのちを守る気象情報」	135名
第30回	令和2年8月28日(金) オンライン開催	養茂 壽太郎 氏(熊本市都市政策研究所 所長) 「感染症によるパンデミックと全国都市緑化くまもとフェア2022の間に公園の進化を考える」	132名
第31回	令和2年11月27日(金) オンライン開催	二塚 信 氏(熊本機能病院顧問) 「歴史上からみた新型コロナウイルス感染症」	40名

◆ 熊本市都市政策研究所 研修会 概要

	日時・会場	講演者・テーマ	参加者数
第14回	令和2年2月13日(木) ※第28回講演会の 事後研修会	熊野 たまみ 氏(SDGs de 地方創生公認ファシリテーター) 「まちづくりを対話する～持続可能な地域な地域をつくる 『SDGs de 地方創生ゲーム』体験会～」	42名

(2) 職員併任研究員制度

研究所では、職員の政策形成能力の一層の向上を図ることを目的に、各局・区等における行政課題や問題の解決に向けて、各局・区等に現在所属している職員が、一定期間、政策研究に取り組む職員併任研究員制度を平成26年度より設けている。

令和1-2(2019-2020)年度は庁内公募により選考された職員併任研究員2組が、それぞれの所管業務に関わる研究テーマを設定し、調査研究に携わった。

熊本都市政策 vol.7 熊本市都市政策研究所年報 2019-2020

Institute of Policy Research, Kumamoto City Annual Report 2019-20

発行日 令和4年(2022年)2月

編集・発行 熊本市都市政策研究所

〒860-0806 熊本市中央区花畑町9-24

住友生命熊本ビル5F

TEL 096-328-2784

E-mail toshiseisakukenkyusho@city.kumamoto.lg.jp
